

## 米陸軍トリイ通信施設内における夜間のサイレン音に対する抗議決議

平成 29 年 7 月 9 日午後 8 時 40 分頃から午後 11 時 20 分頃までおよそ 2 時間 40 分の間、米陸軍トリイ通信施設から周辺住民に不安と恐怖を与えるサイレン音が鳴り響いた。

周辺住民からはそのサイレン音は今まで聞いたことのない耳障りな音で「基地内で事件や事故が発生したのではないか」とか「北朝鮮からのミサイル発射との関係がある」のではないかなどの声が上がった。夜間におよんだ事故であったにも関わらず事故の発生場所や原因が関係機関に問い合わせしても把握されておらず、周辺住民に安眠妨害や多大な迷惑を与えた行為は断じて許されるものではない。

事故の内容については、災害時の緊急避難が必要な時に鳴るシステムが故障して誤作動を起こしたとのことであるが、システム導入から 10 年ほど経過しており、なぜ現在に至って誤作動が起こったのかの原因は解明されていない。

同施設は戦略通信網の施設とされ、各種のアンテナが林立し、さらには在日米軍の再編により倉庫施設等が将来移転してくる状況もあり、同施設内での事件・事故等への緊急の対応が求められるのは言うまでもない。

よって、読谷村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、関係機関に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要求する。

### 記

- 1、地域住民に対し不安と恐怖を与えたことに対して謝罪をすること。
- 2、夜間のサイレンシステム故障事故の原因を究明し公表すること。
- 3、同様な事故が起こらないよう再発防止策を公表すること。
- 4、同施設内での事件事故等への緊急対応体制を確立すること。

以上、決議する。

平成 29 年 7 月 19 日

沖縄県読谷村議会

あて先

在沖米四軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事 米陸軍トリイ通信施設司令官

## 米陸軍トリイ通信施設内における夜間のサイレン音に対する意見書

平成 29 年 7 月 9 日午後 8 時 40 分頃から午後 11 時 20 分頃までおよそ 2 時間 40 分の間、米陸軍トリイ通信施設から周辺住民に不安と恐怖を与えるサイレン音が鳴り響いた。

周辺住民からはそのサイレン音は今まで聞いたことのない耳障りな音で「基地内で事件や事故が発生したのではないか」とか「北朝鮮からのミサイル発射との関係がある」のではないかなど声が上がった。夜間におよんだ事故であったにも関わらず事故の発生場所や原因が関係機関に問い合わせしても把握されておらず、周辺住民に安眠妨害や多大な迷惑を与えた行為は断じて許されるものではない。

事故の内容については、災害時の緊急避難が必要な時に鳴るシステムが故障して誤作動を起こしたとのことであるが、システム導入から 10 年ほど経過しており、なぜ現在に至って誤作動が起こったのかの原因は解明されていない。

同施設は戦略通信網の施設とされ、各種のアンテナが林立し、さらには在日米軍の再編により倉庫施設等が将来移転してくる状況もあり、同施設内での事件・事故等への緊急の対応が求められるのは言うまでもない。

よって、読谷村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、関係機関に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要請する。

### 記

- 1、地域住民に対し不安と恐怖を与えたことに対して謝罪をすること。
- 2、夜間のサイレンシステム故障事故の原因を究明し公表すること。
- 3、同様な事故が起こらないよう再発防止策を公表すること。
- 4、同施設内での事件事故等への緊急対応体制を確立すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 29 年 7 月 19 日

沖縄県読谷村議会

あて先 防衛大臣 沖縄防衛局長